

チャリチャリ主催の親子向け自転車安全教室

「出動！チャリレンジャー！」を開催しました

9月15日、町防災センターでチャリチャリ主催(本町・熊本市共催)の親子向けイベント「出動！チャリレンジャー！」を開催し、町内や熊本市などから、親子合わせて35人が参加しました。

参加者はチャリレンジャーを目指して、特別ゲストの熊本ヴォルターズ田中力選手と一緒に俊敏性測定や危険予測のシミュレーター体験、自転車ルールに関するクイズなどのミッションに挑戦し、自転車の安全な乗り方について楽しく学びました。

また、来年4月より施行される「自転車の交通反則通告制度(青切符)」の講義が大津警察署からあり、参加した子どもたちは真剣に耳を傾けていました。



チャリチャリに触れて安全について学ぶ子ども

7年ぶりのリーグ優勝へ向け始動

熊本ヴォルターズ出陣式を開催しました

9月23日、町と『スポーツの力』で『地域の活力』を創造する連携協定」を締結している、プロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」の公開練習および2025-26シーズン出陣式を町総合体育館で開催しました。町内在住の人や町内中学校のバスケットボール部員など、約250人を招待しました。出陣式では、新生ぼるたんのお披露目や、新ユニフォームの発表、ヴォルターズの選手への質問コーナーなどのほか、全8店舗によるマルシェも開催され、とてもにぎわいました。



新生ぼるたんのお披露目



新ユニフォーム発表



にんじんジュース「うまcarrot」贈呈

YKK AP(株)より

企業版ふるさと納税をいただきました

9月26日、国内外で人々の暮らしやまちづくりに貢献されているYKK AP(株)から寄付をいただき、感謝状贈呈式を行いました。

栗津九州統括支社長は「菊陽町の先進的な取り組みに大変共感した。町の発展にぜひつなげてほしい」と話しました。

寄付金は、町の総合計画に掲げるさまざまな施策の推進に活用させていただきます。



YKK AP(株) 栗津九州統括支社長(右から3番目)

通学路点検後の取り組み

危険箇所の対策を進めています

5月に行った通学路合同点検の際、安全対策が必要と判断された危険箇所について、路側帯のカラー化や道路の舗装などに必要な予算が、9月議会で承認されました。今後は、早期の事業完了を目指して、関係機関が一丸となり、スピード感を持って、児童・生徒の安全確保に取り組めます。なお、具体的な対策箇所は、町ホームページに掲載していますのでご覧ください。



町ホームページはこちら



路側帯のカラー化を実施予定

みんなが住みやすい町を考える

人権のまち菊陽フェスタ&よかつれフェスタを開催しました

9月7日、町図書館ホールで、人権を尊重する社会づくりを目指す啓発イベント「人権のまち菊陽フェスタ」と男女共同参画社会の実現を目指す啓発イベント「よかつれフェスタ」を合同で開催しました。

フェスタは、トーク&ライブの2部構成で実施し、第1部では数多くのCMソングを手掛けるシンガーソングライターのMICAさんが「つながってく ～夢・人・命 大切なこと届けたい～」と題し、インターネット上での誤った情報で恐怖を感じた事や人それぞれに考え方や感じ方が異なる事などを講演しました。

ライブでは応援ソング「100点満点」や「もっともっと」などが披露され、観客席とステージが一体となり大いに盛り上がりました。

第2部ではものまね芸人として活躍中のハリウリサさんが「自分らしく生きる～『愛は自由』母からの言葉～」と題し、講演の冒頭ではものまねで会場を沸かせ、その後は、自身のセクシャリティについての悩みや問題、いじめを受けた際のお母さんからの励まし、ものまねを始めた理由や歌手を辞めてお笑い芸人を目指したきっかけなどを講演しました。

講演の最後に、母に捧げる「ヴィルマ」を熱唱しました。歌詞と講演内容に心を打たれ、会場では涙ぐむ人も見られ感動的なステージでした。参加者からは「とても素晴らしい講演と歌だった」「参加できてよかった」「仕事や子育てに生かしていきたい」などの多くの声が寄せられました。



MICAさん



ハリウリサさん

大好きな本に囲まれて

図書館お泊まり探検隊

9月12～13日、町図書館で開催し、町内の小・中学生30人が参加しました。図書館職員による読み聞かせのほか、町図書館ホールのバックヤードや書庫など、普段は入ることのできない場所も見学し、大好きな読書を思う存分楽しみました。

参加者の1人は「さまざまな本を読んで、興味や知識が深まりました。普段できない貴重な体験で、将来の仕事への関心も広がりました」と感想を述べました。



本の世界を味わう参加者

交通渋滞の解消へ

県道大津植木線多車線化の着工式が行われました

9月23日、セミコンテクノパーク周辺の交通渋滞の解消や物流の円滑化などを目的に整備を進める県道大津植木線の多車線化と合志ICアクセス道路の着工式が県立技術短期大学校で行われ、木村知事・吉本町長・荒木合志市長・金田大津町長をはじめ国会議員や県市町議員、自治体関係者、地元区長など約100人が参加しました。

事業を行う県は、県道大津植木線を最大6車線化も可能な道路幅に拡幅し、併せて中九州横断道路の合志インターチェンジに接続する4車線道路の整備にも取りかかります。

式にて木村知事は「セミコンテクノパーク周辺の物流の円滑化は最重要課題。道路の完成で交通渋滞の解消や物流拠点のアクセス強化など多くの効果が期待できる」と述べ、町長は、「地権者の皆さま、地元や関係機関の皆さまより、ご理解とご支援を賜り、これまでの道路事業の常識では考えられない異次元のスピードで事業を推進できている」と謝辞を述べました。

県では、令和10年度までの完成を目指しています。



工事の安全を祈願した鍬入れ



大津植木線、合志ICアクセス道路の事業箇所

普段は入れない滑走路などを楽しむ

空の日フェスタ2025

9月27日、阿蘇くまもと空港で空の日フェスタが開催されました。これは熊本国際空港(株)が、地域住民に空港を身近に感じてもらえるように毎年開催しているもので、空港の滑走路を歩く早朝ランウェイウォークや制限区域バスツアー、エアラインや空港周辺町村によるブース出店などがありました。早朝ランウェイウォークの参加者は「普段は入れない滑走路を歩くことができ、貴重な体験でした」と笑顔を見せました。



早朝ランウェイウォークを楽しむ参加者

本町初の囲碁ボール大会

第1回菊陽町囲碁ボール大会を開催

9月28日、町総合体育館でスポーツ推進委員協議会主催による第1回菊陽町囲碁ボール大会が開催されました。

当日は63～88歳の計27人が参加。囲碁ボールは、碁盤に見立てた人工芝のマットを敷き、スティックを使って白と黒のボールを交互に打ち五目並べをするニュースポーツです。相手チームのボールにぶつけてはじき出したり、間違って自分チームのボールをはじき出してしまったり、笑い声のあふれる大会になりました。



どこを狙うかチームで声を掛け合う参加者